

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

別紙2

令和5年度予算額（案）	28億円
(前年度予算額)	18億円
令和4年度第2次補正予算額	19億円



方向性・目指す姿

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。

「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 部活動の地域移行等に向けた実証事業

11億円

委託・新規

関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

(1) 部活動の地域移行に向けた実証事業（取組例）



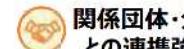
体制整備

- 関係団体・市区町村等との連絡調整
- コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
- 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保



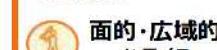
指導者の質の保障・量の確保

- 人材の発掘・マッチング・配置
- 研修、資格取得促進
- 平日・休日の一貫指導



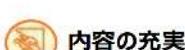
関係団体・分野との連携強化

- スポーツ・文化芸術団体、大学、企業等
- スポーツ推進委員
- まちづくり・地域公共交通



面的・広域的な取組

- 多くの部活動の移行
- 市区町村等を超えた取組



内容の充実

- 複数種目、シーズン制
- 困窮世帯の支援
- 体験型キャンプ
- 費用負担の在り方
- レクリエーション的活動



参加費用負担支援等

- 困窮世帯の支援
- 費用負担の在り方



学校施設の活用等

- 効果的な活用や管理方法

方針

体制構築・環境整備×3

*3 国は、必要に応じ関連制度の改善・運用の見直しなど、円滑な地域移行に向けた環境整備を推進する。

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度～

・実践研究の実施
・人材バンクの整備
・説明会等の開催
・ガイドライン改定

・実証事業の実施
・進捗状況を把握し、令和6年度からの施策に反映

・進捗状況の検証を踏まえ、段階的に地域移行を進めるとともに、令和8年度からの施策に反映

・ガイドライン見直し
・更なる支援方策の検討

事業スキーム

スボ化一庁

文化庁

スポーツ庁

体制例

市町村

都道府県

JPJO/JPSA

学校部活動の地域連携

中学校

合同部活動

（単体）部活動

地域の人才

部活動指導員

指導

指導